

タイ

主要データ

国名〔英名〕	タイ王国〔Kingdom of Thailand〕
面積(km ²)	513, 120
海岸線延長(km)	3, 219
人口(百万人)	65. 9
人口密度(人/km ²)	128. 4
GDP(百万 US\$)	273, 313
一人当り GDP(US\$)	4, 116
一人当り銅使用量(kg/人)	3. 9
主要鉱産物：鉛(千 t)	亜鉛(36)
主要鉱産物：地金(千 t)	亜鉛(104) 鉛(73) 錫(22)
鉱業管轄官庁	工業省一次産業・鉱山局(Department of Primary Industries and Mines, Ministry of Industries)
鉱業関連政府機関	天然資源環境省鉱物資源局(Department of Mineral Resources, Ministry of Natural Resources and Environment)
鉱業法	鉱物法(Minerals Act、1967 年) 錫管理法(Tin Control Act、1971 年)
ロイヤルティ	鉱物ロイヤルティ法(Minerals Royalty Rates Act、1966 年)
外資法	投資促進法(Investment Promotion Act、1977 年) 外国人事業法(Foreign Business Act、1999 年)
環境規制法 (環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	環境保護促進法(National Environmental Protection and Promotion Act、1992 年)
鉱業公社	NA
鉱業活動中の民間企業	Padaeng Industry Public Company Ltd、Panaust Ltd、Amanta Resources Ltd、Kingsgate Consolidated 社、Oxiana 社
近年の鉱業関連問題 (資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	NA
2008 年のトピックス	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2007 年 12 月に行われた下院議員選挙の結果を受け、1 月に国民の力党が政権を掌握した。しかし、反政府活動の激化から政府庁舎、バンコク国際空港等が占拠され、12 月には憲法裁判所が国民の力党を 2007 年の選挙違反により解党処分とする旨の判決を下し政権崩壊。民主党党首を首相とした新政権が発足した。

1. 鉱業一般概況

- ・ 亜鉛鉱山・製錬会社 Padaeng Industry Public Co. Ltd. の Mae Sod 亜鉛鉱山は、2007 年 10 月に政府との事業契約期間が終了し、更新が遅れたため採掘を中断していたが、2008 年 4 月に 15 年間の事業契約を締結、採掘を再開した。採掘中断期間中も、在庫鉱石で製錬事業は継続された。同社は、事業契約更新を 2003 年には申請していたが、認められてい

なかった。

- ・ 2007 年 4 月に有害廃棄物流出により政府から操業中止命令が出された Thai Copper Industries Public co. Ltd. の Rayong 銅製錬所は、2008 年も生産を行わなかった。

2. 鉱業政策の主な動き

- ・タイ通信衛星事業会社がシンガポール政府系投資会社傘下となったことが2006年9月に表面化し、政変も絡んで外国人(企業)のタイへの投資規制強化の動きが出たが、最終的には従来どおりとなった。しかし、この動きの中で、亜鉛鉱山・製錬会社である Padaeng Industry Public Co. Ltd. に筆頭株主として出資していたベルギーの非鉄金属会社である Umicore グループは2008年4月、過半数株式の取得ができず経営の主導権を握れないことを理由として46.9%の株式全てを売却、派遣していた役員も引き上げた。
- ・事の起こりは、シンガポール政府系投資会社が100%子会社を通じてタイ通信衛星事業会社株式44%を取得、タイ資本が過半数を占める投資会社3社が別に52%を取得したが、この3社の投資会社もシンガポール社の利益を代表しており、シンガポール社が実質的に96%を保有しているのではないかとされたもの。外国人事業法では、外資は規制業種に対し直接的には49%以下しか株式を保有できない(鉱業もこれに含まれる)ため、現地

投資会社、タイ企業、タイ人等の名義人を通じて投資し、自らの出資比率と合わせて実質的に企業支配しているものが多いとされ、この問題がタイに対する外国資本投資に与える影響の大きさから、当初慎重に扱われた。

- ・しかし、表面化直後にクーデターが起き、通信衛星事業会社の前オーナーがタクシン元首相の親族であったこともあり、政治問題化した。(クーデター後の)暫定政府は、外国人事業法の改正を検討し、出資比率で規制を行っていたものを実質的な議決権比率も規制対象とし、既出資分の変更義務、刑罰の強化等を内容とした法案を暫定国会に提出した。しかし、暫定国会は規制がまだ緩いとして否決、12月には新憲法制定後の下院議員選挙で新政権が発足したこともあり、2008年3月に商務省は外資規制強化策を撤回し、従来どおり出資比率のみで判断されることとなった。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要非鉄金属鉱石生産量

表 1. タイ：金属鉱石生産量

鉱種	2006年	2007年	2008年	2008年増減比(%)
亜鉛(千t)	42.8	42.3	36.0	-14.9
錫(千t)	0.2	0.2	0.2	0.0
金(t)	3.5	3.4	1.6	-52.9
銀(t)	11.4	7.7	5.2	-32.5
アンチモン(t)	1,188	0.0	1,200	皆増

(出典：WMSY 2009)

(2) 主要非鉄金属地金生産量

表 2. タイ：金属地金生産量

鉱種	2006年	2007年	2008年	2008年増減比(%)
銅(千t)	32.5	13.0	0.0	-100.0
鉛(千t)	61.2	73.2	73.2	0.0
亜鉛(千t)	96.5	99.0	103.5	4.5
錫(千t)	25.8	17.9	21.7	21.2

(出典：WMSY 2009)

(3) 主要非鉄金属消費量

表 3. タイ：金属地金消費量

鉱種	2006年	2007年	2008年	2008年増減比(%)
銅(千t)	250.6	206.4	255.5	23.8
鉛(千t)	139.9	140.0	124.5	-11.1
亜鉛(千t)	117.1	105.0	112.2	6.9
錫(千t)	5.2	4.7	4.2	-10.6
アルミニウム(千t)	407.0	401.1	408.7	1.9
ニッケル(千t)	2.5	2.1	2.3	9.5

(出典：WMSY 2009)

(4) 主要非鉄金属輸出货量

表 4. タイ：精鉱、地金等輸出货量(マテリアル量) (1)

鉱種	2006年	2007年	2008年	2008年増減比(%)	主な輸出相手国	HSコード
銅鉱(千t)	0	44.3	7.6	-82.8	中国、ラオス	260300
鉛鉱(千t)	0.1	0.1	4.7	3,949.8	中国、シンガポール	260700
亜鉛鉱(千t)	0	0.1	0.1	-26.9	中国、韓国	260800
錫鉱(t)	0.8	2.3	7.1	210.6	香港、ノルウェー	260900
マンガン鉱(千t)	3.0	6.5	27.1	316.6	中国、インド	260200
タングステン鉱(t)	509.8	1,217.3	1,306.6	7.3	中国、米国、ヴァージン諸島	261100
チタン鉱(千t)	10.1	15.6	2.8	-82.0	中国、イラン、チュニジア	261400
ジルコン鉱(千t)	7.1	8.3	7.7	-7.4	中国、フィリピン、香港	261510
アンチモン鉱(t)	62.0	100.1	253.1	153.0	中国	261710
希土類金属、スカンジウム及びビトリウム(t)	23.4	0.0	0.0	—	—	280530
タングステン酸塩(t)	3.0	0.0	0.0	—	—	284180
希土類金属の無機又は有機化合物(セリウム化合物除く)(t)	5.7	0.2	0.3	6.4	日本	284180
銀(t)	192.1	278.4	305.0	9.5	中国、日本、シンガポール	710610, 710691, 710692
金(t)	51.1	77.7	130.2	67.5	豪州、スイス、香港	710811, 710812, 710813
白金(t)	0.0	3.2	3.9	22.2	日本、香港、中国	711011, 711019
パラジウム(t)	0.0	5.8	11.0	91.4	米国、日本、ミャンマー	711021, 711029
ロジウム(t)	1.9	12.1	47.6	293.2	マレーシア、スリランカ	711031, 711039
精製銅(千t)	49.9	51.3	9.4	-80.0	マレーシア、台湾、韓国	740311, 740319

表 4. タイ：精鉱、地金等輸出量(マテリアル量) (2)

鉱種	2006年	2007年	2008年	2008年 増減比 (%)	主な輸出相手国	HSコード
鉛地金(千t)	0.9	0.5	1.7	246.6	インドネシア、 マレーシア、ミャンマー	780110
亜鉛地金(千t)	2.5	6.3	11.8	87.2	台湾、マレーシア、香港	790111, 790112
錫地金(千t)	20.0	18.7	16.7	-10.8	日本、韓国、オランダ	800110
アンチモン(t)	170.0	59.5	59.6	0.2	バングラデシュ、 マレーシア、インドネシア	811010

(5) 主要非鉄金属輸入量

表 5. タイ：精鉱、地金等輸入量(マテリアル量) (1)

鉱種	2006年	2007年	2008年	2008年 増減比 (%)	主な輸入相手国	HSコード
銅鉱(千t)	10.1	74.6	0.0	-100.0	—	260300
亜鉛鉱(千t)	101.9	169.6	193.8	14.3	豪州、ペルー、アイルランド	260800
ニッケル鉱(千t)	0.0	1.8	0.4	-78.0	スウェーデン	260400
ボーキサイト(千t)	41.8	31.7	51.8	63.1	中国、マレーシア、ミャンマー	260600
錫鉱(t)	6,545.5	12,974.4	18,771.0	44.7	コンゴ、豪州、ルワンダ	260900
マンガン鉱(千t)	0.3	0.2	0.7	245.8	ラオス、中国、インド	260200
クロム鉱(千t)	2.4	2.5	2.2	-11.9	南ア、オマーン、中国	261000
タングステン鉱(t)	24.6	0.2	0.0	-100.0	—	261100
焙焼モリブデン鉱(千t)	0.0	0.0	1.4	皆増	中国、香港、チリ	261310
チタン鉱(千t)	6.3	10.3	36.5	254.4	豪州、南ア、米領サモア	261400
ジルコン鉱(千t)	13.9	8.9	48.7	448.4	豪州、南ア、台湾	261510
アンチモン鉱(t)	569.5	1,072.4	1,217.6	13.5	ミャンマー	261710
希土類金属、スカンジウム及びビトリウム(t)	12.5	7.4	8.4	12.7	中国、日本	280530
水銀(t)	7.9	25.8	6.2	-76.2	日本、スペイン	280540
コバルト酸化物・水酸化物(t)	76.2	67.2	130.1	93.8	中国、タイ、フィンランド	282200
バナジウム酸化物・水酸化物(t)	10.5	15.0	23.9	59.3	日本、中国	282530
セリウム化合物(t)	339.4	304.3	712.9	134.3	日本、中国、フランス	284610
希土類金属の無機又は有機化合物(セリウム化合物除く)(t)	355.8	497.5	416.0	-16.4	日本、中国、台湾	284690
銀(t)	1,472.4	2,299.9	1,598.8	-30.5	中国、日本、韓国	710610, 710691, 710692

表 5. タイ：精鉱、地金等輸入量(マテリアル量) (2)

鉱種	2006年	2007年	2008年	2008年 増減比 (%)	主な輸入相手国	HSコード
金(t)	114.6	111.0	240.2	116.3	スイス、豪州、香港	710811, 710812, 710813
白金(t)	2.4	0.6	1.9	209.7	日本、英国	711011, 711019
パラジウム(t)	0.3	0.5	0.4	-14.7	英国、シンガポール	711021, 711029
フェロマンガン(千t)	14.5	12.9	9.6	-25.7	中国、日本、南ア	720211, 720219
フェロシリコマンガン(千t)	34.4	36.4	37.9	4.4	中国、インド、豪州	720230
フェロクロム(千t)	18.3	23.3	22.2	4.5	南ア、インド、中国	720241, 720249
フェロバナジウム(千t)	0.0	1.4	0.1	-96.1	日本、中国、韓国	720292
精製銅(千t)	267.3	244.2	262.2	7.4	ラオス、インドネシア、豪州	740311, 740319
精製ニッケル(千t)	2.6	2.1	2.7	2.5	カナダ、ロシア、英国	750210, 750400
アルミニウム(千t)	197.6	205.9	199.1	-3.3	豪州、南ア、中国	760110
鉛地金(千t)	78.1	65.3	51.5	-21.1	豪州、中国、カナダ	780110
亜鉛地金(千t)	23.1	12.3	20.6	66.9	豪州、韓国、日本	790111, 790112
錫地金(千t)	20.8	15.0	12.3	-17.7	インドネシア、マレーシア、シンガポール	800110
コバルト(t)	0.2	0.2	0.2	-7.2	カナダ、台湾、日本	810520
アンチモン(t)	558.2	505.5	254.7	-49.6	中国、日本	811010
マンガン(千t)	1.7	1.1	0.7	-33.3	中国、台湾、英国	811100

4. 鉱山・製錬所状況

表 6. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業(権益：%)	鉱種	生産量 (kt：年)	備考
Mae Sod 鉱山	Padaeng Industry Public Co. Ltd. (100) (Bali Ventures Ltd. (21.7)、財務省 (13.8)、Rak Minerals & Metals Investment FZ-LLC (12.5))	亜鉛精鉱	71.0	2008年生産実績
		亜鉛鉱石 (注)	50.0	
Chatree 鉱山	Kingsgate Consolidated Ltd. (100)	金	2.3t	2008年生産実績
		銀	7.2t	
Loei 鉱山 (Phu Thap Fah 鉱山)	Tongkah Harbour Public (100)	金	1.0t	2008年生産実績

(注) 高品位鉱石。粉碎の上、選鉱せずにそのまま製錬。

表 7. 製錬・精製所生産状況

	権益所有企業(権益：%)	鉱種	生産量 (kt：年)	備考
Tak 製錬所	Padaeng Industry Public Co. Ltd. (100) (Bali Ventures Ltd. (21.7)、財務省 (13.8)、Rak Minerals & Metals Investment FZ-LLC (12.5))	亜鉛地金	110.6	2008 年生産実績
		銅地金	0.4	
Rayong 製錬所	Thai Copper Industries Public co. Ltd. (100)	銅地金	0	
Phuket 製錬所	Thailand Smelting and Refining Co. Ltd. (100)	錫地金	NA	

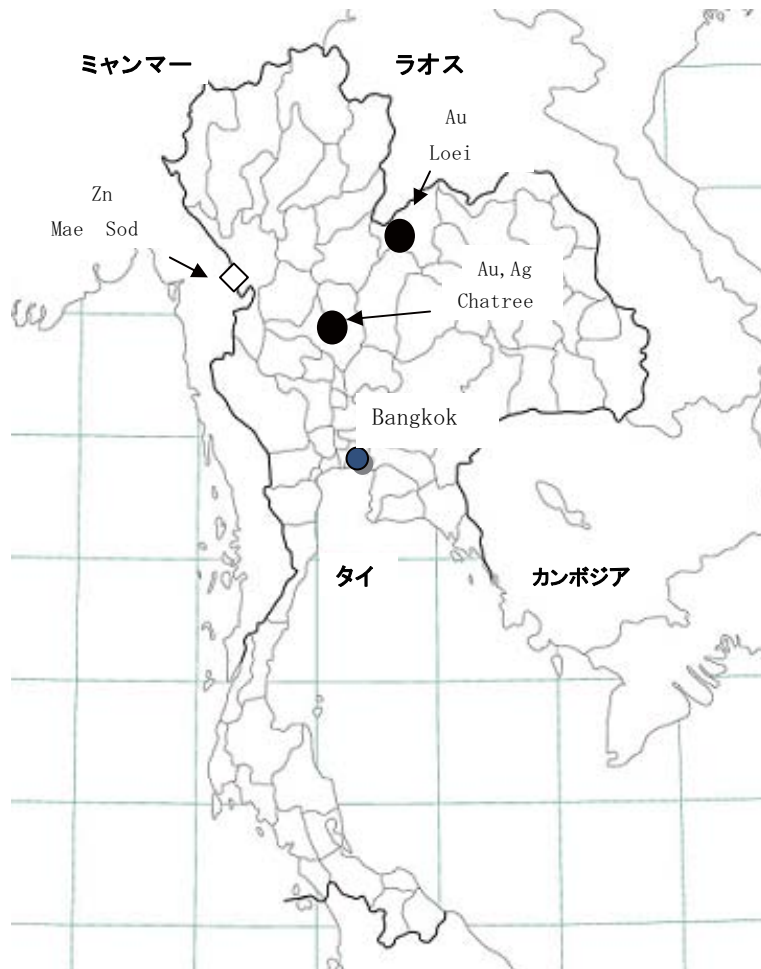


図 1. タイの主要鉱山位置図

5. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

表 8. タイの日本への精鉱、地金輸出量 (マテリアル量)

鉱種	2006年	2007年	2008年	2008年増減比(%)	HSコード*
粗銅(t)	1,227.7	512.2	0	-100.0	740200
銅カソード(t)	3,109.8	2,859.7	0	-100.0	740311
鉛地金(t)	0	199.1	0	-100.0	780110
亜鉛地金(t)	0	402.1	0	-100.0	790111
錫地金(t)	4,403.5	5,023.3	9,975.0	98.6	800110
金(kg)	2.8	24.8	1.1	-95.6	710811, 710812, 710813
銀(kg)	1,988.1	0	13,901.4	皆増	710610, 710691, 710692
白金(kg)	1.5	8.1	0.2	-97.8	711011, 711019
アルミニウム(t)	259.8	40.6	13.8	皆増	760110
ジルコニウム鉱石(t)	0	0	222	皆増	261510
三酸化アンチモン(t)	0	0	3.1	皆増	282580
タンタル(t)	57.5	28.6	35.7	25.2	810320

(出典：日本貿易月表 2008.12)

(2) 日本企業による投資状況等

- ・ 特になし。

6. その他トピックス

- ・ 2008年は政治的社会的に混乱した年であった。
- ・ 1月、前年12月の下院議員選挙結果を受け、国民の力党サムック党首が首相に就任。国内権力闘争により反政府活動が激化し、8月に民主化市民連合(PAD)により首相府が占拠される。また、サムック首相はTV番組への出

演が違憲とされ、9月に首相職を失職。ソムチャイ副首相が首班指名を受けたが、PADによる反政府デモにより11月にはバンコク国際空港等が占拠される事態となった。12月には憲法裁判所が国民の力党を2007年の選挙違反により解党処分とする旨の判決を下し政権崩壊。その後、アピシット民主党党首を首相とした新政権が2008年12月に発足した。

(2009.9.9/ジャカルタ事務所 小岩孝二)